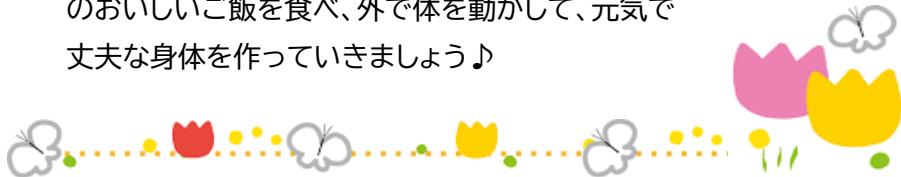


くれよんだより

日を増すごとに暖くなり、ぽかぽか陽気の中、ドキドキの新年度がスタートしました！また一つお兄さんお姉さんになる子どもたち。その姿を見守ることができ、保育士も嬉しく思います。成長が楽しみです♪ 環境の変化があると体調を崩しやすいので、栄養たっぷりのおいしいご飯を食べ、外で体を動かして、元気で丈夫な身体を作っていきましょう♪



乳児期ワクチン接種の変更点

四種混合ワクチンの接種開始月齢が**生後2ヵ月**に変更されました。接種を1ヵ月早めることでリスクが高い生後6ヵ月未満の乳児の重症化を減少させることが期待されます。

***四種混合ワクチンとは**…百日咳、ジフテリア、破傷風、ポリオの4つの病気を予防するワクチンで、乳幼児期に計4回の接種をします。3～8週間間隔で3回、3回目接種の約1年後(6ヵ月後から接種可能)に4回目の追加接種をします。

***予防接種の役割**…「個人を守る」「社会を守る」2つの役割
予防接種を受けると、その病気に対する免疫がつくれ、その人の感染症の発症あるいは重症化を予防することができます。また、多くの人が予防接種を受けることで免疫を獲得していると、集団の中に感染患者が出ても流行を阻止することができる「集団免疫効果」が発揮されます。さらに、ワクチンを接種することができない人を守ることもつながります。

新型コロナワクチン接種期間延長

新型コロナワクチンを公費(無料)で接種できる期間が、昨年度いっぱいでしたが、**令和6年3月31日**までに延長されました。生後6ヵ月以上5歳未満の小児におけるワクチンの有効性は、発症予防効果について生後6ヵ月～23ヵ月児で75.8%、2～4歳児で71.8%と報告されています。重症化予防効果は発症予防効果を上回ることが期待されています。また、5歳以上の小児も、世界各国からの大規模な研究成果が蓄積され重症化予防効果が40%～80%程度認められることが確認されました(日本小児科学会)。小児科学会は、生後6ヵ月以上のすべての小児に新型コロナワクチン接種を推奨しています。



保育室の様子

保育室では、室内で個々の体調に合わせた遊びをして楽しく過ごしています！天気の良い日には、テラスでご飯を食べることも♪また、行事ごとに製作をして子どもたちもパパママに見せる！と張り切って作っています♡



ひなまつりの製作



※保護者の同意を得て掲載しています。

病児保育室からのお知らせ

利用できる年齢が、生後6ヵ月からでしたが、4月1日より**生後0ヵ月から小学校6年生**までに拡大されました。

お問い合わせはこちらまで
病児保育室くれよん
電話 0893-57-9377
ホームページ
<https://okubo-kc.jp/childcare/>